

## 令和5年度第2回花巻市博物館協議会 会議録

### 1 開催日時

令和6年1月30日（火） 午前10時25分～午前11時45分

### 2 開催場所

花巻市博物館 講座・体験学習室

### 3 出席者

#### (1) 委員名 8名

佐藤由紀男委員（会長）、浅沼昭男委員（会長職務代理者）、瀬川勝司委員、  
鎌田愛子委員、伊藤晴二委員、門馬優子委員、大原皓二委員、佐々木さつき委員

#### (2) 事務局（博物館） 5名

佐藤勝教育長、中村良幸館長、佐藤恒副館長、菊池宏美管理係長、  
小原伸博学芸係長

### 4 議 事

- (1) 令和5年度事業の報告について
- (2) 令和6年度事業の計画について

### 5 議 事 録

#### (1) 開会（進行：佐藤恒副館長）

[協議会成立報告（委員8名出席・2名欠席）]

#### (2) 挨拶

（佐藤勝教育長）

本日は大変お忙しいところご出席いただきありがとうございます。

花巻市におきましては、来年から8年間、花巻市の総合計画というのがスタートいたしますし、文化財保存活用地域計画が令和5年12月に文化庁の認定を受けましたので、来年度からは活用計画に沿って事業を総合的に進めていくこととなりますので、文化財の保存活用調査研究、あるいは公開・普及という機能を担う博物館は、計画を進めるうえで一つの大きな拠点になろうかと思えます。

本日は、本年度の事業についてのご報告と、来年度、現段階で予定している事業計画につ

いてお諮りするとともに、花巻市博物館の関連施設である石鳥谷歴史民俗資料館についてですが、この施設は酒造用具を収蔵している部分と、石鳥谷の歴史民俗を展示している民俗資料館部分があり、民俗資料館の部分の老朽化により、展示資料を石鳥谷歴史民俗資料館のすぐ近くにある石鳥谷農業伝承館に移設し、公開することで進めておりますことをご報告したいと思います。

今後さらに市民の方々や花巻を訪れる方々から、親しまれる博物館として、また、まち作りの拠点施設として魅力を高めるにはどうしたらいいかといった観点から、ご意見をいただき、今後の事業に反映してまいりたいというふうに考えております。

### (3) 議事

(佐藤恒副館長)

それではこれより議事に入らせていただきます。

議長は、規則第9条第2項の規定により、当協議会の会長であります岩手大学教育学部特命教授 佐藤 由紀男様をお願いいたします。

(佐藤由紀男会長)

会長の佐藤でございます。よろしくをお願いいたします。

それでは議事に入ります。令和5年度の事業報告について議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

[小原伸博学芸係長が資料1～7ページについて説明]

(佐藤由紀男会長)

それではご質問、ご意見のある方はご発言をお願いします。

(浅沼昭男委員)

資料収集活動についてですが、歴史美術工芸について、京都の方から寄贈について、資料点数が多いようですが、花巻市博物館のとの関係性や寄贈資料の内容についてお聞きします。

(小原伸博学芸係長)

寄贈いただいた阿部芳太郎の雪景図は、花巻の明治期に活動した洋画家であり、齋藤宗次郎の関係で描かれたものであることから、寄贈いただきました。そのほか、齋藤宗次郎に関わる手紙や書簡を寄贈いただきました。

(佐藤由紀男会長)

他にはいかがでしょうか。

(大原皓二委員)

令和5年度のテーマ展「北松齋と南部政直」についてですが、南部政直の肖像画が、ポスターに反転し使用していることからすべて逆になっていること、展示されている乗り物の担ぎ棒が天地逆になっていることを指摘させていただきます。

(小原伸博学芸係長)

ポスターにつきましては、今後気を付けてまいります。また、展示資料につきましては、確認をし、対応いたします。

(佐藤由紀男会長)

他にはいかがでしょうか。

(鎌田愛子委員)

職場体験学習ということで、中学生の職場体験をされていますが、どのような体験をされたのか教えてください。

(菊池宏美管理係長)

受付業務では来館者の方への接客を体験していただきました。また、博物館ならではの業務ということで、学芸業務として、例えば資料を展示するときに使う展示を支える道具を作成するという業務を体験していただきました。

(佐藤由紀男会長)

他にはいかがでしょうか。

(門馬優子委員)

「かがくいひろしの世界展」の展示は、大変見ごたえのある展示だったと思いますし、関連した事業も充実していて、たくさんの方たちに喜ばれた展示だったのではないかと思います。そこで、どのようにしてかがくいひろしさんをテーマとして選ばれたのかということと、今後こういった美術館対象になるような絵本作家さんをテーマとして展示するお考えはあるのか伺います。

(小原伸博学芸係長)

かがくいひろしさんをテーマに選んだ理由は、博物館では博学連携事業を推進しており、

博物館と学校が連携をして、博物館の利用活用していく取組をしております。かがくひろしさんが特別支援学校の教員であったということから、特別支援学校や特別支援学級の子どもたちにも博物館を利用してほしいということから、企画展を計画しました。

また、今後他の絵本作家の展覧会をやる予定はまだありませんが、機会があれば考えていきたいと思っております。

(佐藤由紀男会長)

他にはいかがでしょうか。

(伊藤晴二委員)

修学旅行・校外学習等見学対応についてですが、資料を見ると企画展示が中心になっていますが、私はぜひ子どもたちに見てほしいと思っているのは常設展示の方なので、常設展示の子ども向けの説明といたしますか、そういったものがあれば、子どもたちも見学が多くなるのではないかなという感じがしておりますが、その点について伺います。

(小原伸博学芸係長)

市内小学校の見学対応の際は、常設展示と企画展示合わせてご覧になっていただいております。常設展示の見学には、児童がわかりやすいように、クイズ形式のワークシートを使用し見学に対応しております。

(佐藤由紀男会長)

他にはいかがでしょうか。

(瀬川勝司委員)

感想になりますが、出前授業では、それぞれの学校のニーズに応じた出前授業等を展開していただきました。本校南城中学校でいえば、7月4日に「戦争と花巻」という出前授業を行い、そして8月10日の行事に全校で気持ちを込めて千羽鶴を折ったり、そのような形で花巻を知る、地域を知るということに大変繋がったなと思っております。

また、いろいろ博物館で企画展示等を、あるいは事業等を行っていますが、ポスター等で知らせていただきましたので、学校に掲示をすることによって、たくさんの事業を広く子供たちに伝えることができたなと思います。

(佐藤由紀男会長)

他にはいかがでしょうか。それでは、私からもギャラリートークについてですが、ギャラリートークは博物館にとって極めて大事な事業だと思うのですが、どこでも利用する方が少ないというのが大きな課題だと思います。私自身も大学の授業で博物館経営の中で取り

上げますが、解決策を見出せていないのが実態です。どこでも苦勞していることですので、岩手県の博物館の関係者が集まるような会などで、お互い情報交換してみると何かいい方策があるかと思えます。

他にはいかがでしょうか。よろしければ次の議題として令和6年度事業の計画について事務局から説明をお願いします。

[小原伸博学芸係長が資料8～9ページについて説明]

(佐藤由紀男会長)

それではご質問、ご意見のある方は発言をお願いします。

(浅沼昭男委員)

令和6年度は開館20周年記念ということで、よろしいでしょうか。

(小原伸博学芸係長)

令和6年4月24日を迎えますと開館20周年となります。

(佐藤由紀男会長)

「縄文ワールド展」の方だけ開館20周年記念とするのですか。

(小原伸博学芸係長)

「縄文ワールド展」と「アニメージュとジブリ展」の2つが開館20周年記念の特別展となります。

(佐藤由紀男会長)

他にはいかがでしょうか。

(伊藤晴二委員)

旧東和ふるさと歴史資料館の展示資料はどこに保管されているのかという点と、一般展示の方に展示する計画があるかお伺いします。

(小原伸博学芸係長)

収蔵資料展などの時に、旧東和ふるさと歴史資料館の資料や石鳥谷歴史民俗資料館の資料なども合わせて紹介していきたいと思っておりますし、常設展示のリニューアル計画がございますのでその際に、1市3町の資料を合わせた展示を計画しているところです。

保管場所につきましては、旧東和ふるさと歴史資料館の資料は、東和の成島振興センター

と田瀬振興センターの方に、保管しております。

(佐藤勝教育長)

市の指定の資料は、全て博物館で管理しています。ただ民俗資料が多数ありますので、成島や田瀬で保管しながら、記録が不十分なものは委託をしながら、もう一度整理しています。また、東和の方に見ていただくために、東和コミュニティセンターに展示し、定期的に少しずつ展示替えもしております。

(佐藤由紀男会長)

要望ですが、新しい委員が加わった時には、施設などのこれまでの経緯などレクチャーなどを事務局側で加えていただきたいと思います。

他にはいかがでしょうか。

(佐々木さつき委員)

「かがくいひろしの世界展」ではワークショップが大変充実していて、参加した方からは、とてもよかったという話を聞いています。来年度の「アニメージュとジブリ展」のワークショップで予定しているものがあれば教えてください。

(小原伸博学芸係長)

「アニメージュとジブリ展」のワークショップは、まだ検討しているところですので、決まっているものはありません。

(佐々木さつき委員)

「かがくいひろしの世界展」では、ワークショップの読み聞かせを地元のボランティアが行っていて、ボランティアの方たちの発表の場にもなってすごく良かったと思うので、ジブリ展でも地元の団体と一緒にやれるといいなと思います。

(佐藤由紀男会長)

参考にしていただいて検討していただければと思います。他にはいかがでしょうか。

(浅沼昭男委員)

「縄文ワールド展」について、実物はどのくらい展示になるのでしょうか。写真だけでなく実物があれば非常にいいのではないか思っている質問です。

(中村良幸博物館館長)

小川忠博さんの写真展ですが、普通は県立美術館クラスで展示しており、花巻市博物館は

その3分の2ぐらいしかない広さですので、実物展示は一応県内を中心として考えており、岩手県内の珍しい土偶などを展示するコーナーを設けて、ある程度比較できるぐらいにはしたいなと思います。

(伊藤晴二委員)

関連してですが、縄文関係のブームがここ数年ありますので、この機会に素晴らしい写真と全国的な有名な実物、それと同時にやっぱり花巻の縄文はという何かちょっとしたものがあれば、子どもたちにも関心が持ってもらえるのかなと思います。

(中村良幸館長)

小川忠博さんの展示の時にも、ある程度、花巻を中心的には展示をしたいと思っておりまし、岩手県内にも素晴らしいものがたくさんありますので、それも含めて、スペースが限られますけれども、素晴らしいものがあるということは示したいと思っております。

(佐藤由紀男会長)

私からも、意見となりますが、文化財で進められている花巻城の調査結果については、博物館でもテーマ展なりで将来的には取り上げていただきたいと思います。

また、文化財保存活用地域計画が策定されたわけですので、博物館として今後どのような形で関わっていくのか、博物館の仕事は何が変わってきて、それでどの仕事が増えるのか、それが極端に増えるということになると、全体の仕事量の見直しをしなければならないが、博物館職員数が増えるわけでないということから、来年度からこの地域計画に基づいて文化財全体を考えていくことになると思いますので、博物館のそういった部分も今後検討していただきたいと思います。

他にはいかがでしょうか。

次の報告に移らせていただきます。

石鳥谷歴史民俗資料館の展示資料の移設について、事務局からお願いいたします。

[菊池宏美管理係長が資料10ページについて説明]

(佐藤由紀男会長)

重要有形民俗文化財の酒造用具は修復をされてるかと思うんですけども、どの程度まで進んでいる状況なのでしょう。

(小原伸博学芸係長)

重要文化財の修復は昨年度の事業として45点修復は終わっております。

(佐藤勝教育長)

酒造用具についてですが、木製品ですのでどうしても使わないことで乾燥してだいぶ劣化していましたので、文化庁とやり取りしながら、それを全部直したものです。

(佐藤由紀男会長)

他にございますか。

それでは、追加の報告について、事務局より説明をお願いします。

[菊池宏美管理係長が花巻市博物館の入館者数について説明]

(佐藤由紀男会長)

それではご質問、ご意見のある方は発言をお願いします。

それでは私から、博物館にとって入館者が増えるということはとてもいいことを大事なことでありますけれど、博物館の入館者ということを中心に特別展を組むということは、本末転倒なことが多いです。博物館として、市民に対して何を提供するのがいいのかということをもまず考える。研究成果をきちんと伝えるということを考えてることが博物館の本来の姿で、今年はずっとそれと特別展のテーマが一致をして、人がたくさん入る巡回展がやってきたというふうに、理解すべきであって、この数字というのはある意味特別な数字で、この博物館で一つの目標にする数字ではないというのは、協議会の委員の方々も承知していただきたいと思い発言させていただきました。

[小原伸博学芸係長が花巻市史の編さんの進捗状況について説明]

(佐藤由紀男会長)

質問はございますでしょうか。

よろしいですか。それでは、以上をもちまして本日の議事は終了いたします。

委員各位のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。では進行は事務局にお戻しいたします。

(4) その他

(佐藤恒副館長)

次第5 その他になります。皆様の方から何かございますか。

閉会の挨拶を館長からご挨拶いたします。



(中村良幸博物館長)

本日は貴重なご意見をいただきまして本当にありがとうございました。

ギャラリートークの件につきましては、やはり問題があると考え、宣伝方法や周知の仕方を考えていかなければならないと改めて思ったところです。それから今年度は来館者見込が3万人を超えましたけれども、やはり通常の企画展でも、1万人ぐらい入るような企画展ができればなと思うのですが、なかなかその市民の方に心を動かして来ていただくということが難しく、むしろ県外から来るお客様の人数が増えていますので、県民や市民にどうしたら見てもらえるか、周知方法などを考えていきたいと思ひますし、県内も多分同じ傾向だと思ひますので、博物館協議会でもテーマに持ち出してもいいのかなと考えております。

来年度、20周年ということで、また大きな事業がありまして、多分入館者数も相当増えるだろうと思ひますけれども、それに甘んじることなく、企画展等と進めていきたいと思ひますので、委員の皆様のご意見、ご要望等を受けながら進めてまいりたいと思ひます。本日はありがとうございました。